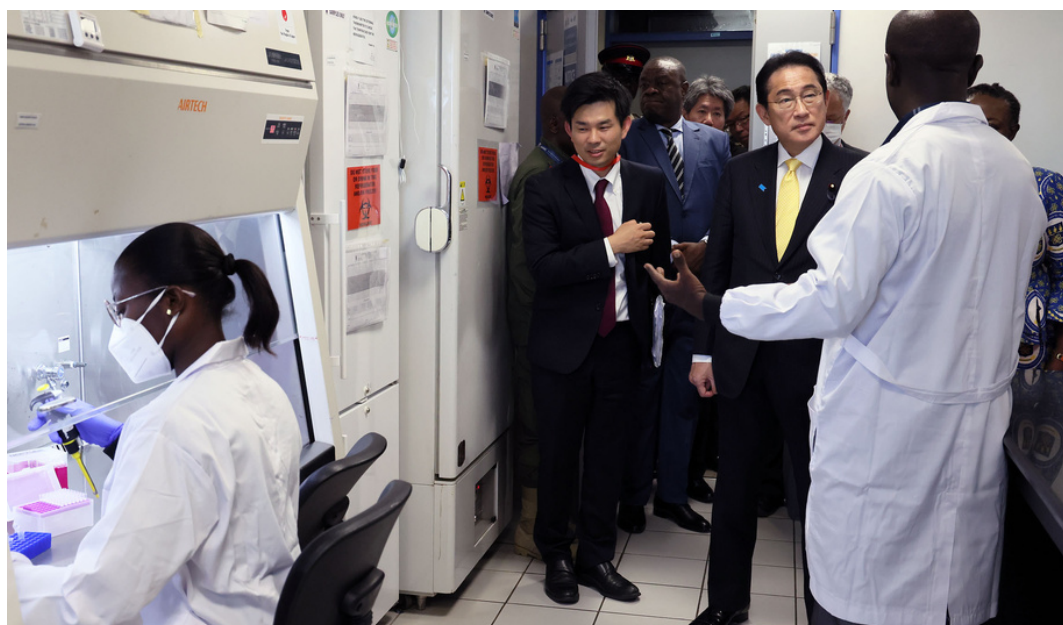


東京医科歯科大学 ガーナ大学・野口記念医学研究所センター ニュースレター VOL.34

岸田総理、 ガーナの野口記念医学研究所を視察



2023年5月1日、岸田文雄総理大臣がガーナの首都アクラにある野口記念医学研究所を視察に来られました。東京医科歯科大学の拠点がある当研究所は、日本の国際協力機構（JICA）の支援を受けており、研究所内には見慣れた日本製の機器がたくさんあります。岸田総理は限られた時間の中、同研究所の研究者と面会し、感染症対策の取り組みについて意見交換を行いました。



昨今、テレビやネットニュースなどで「SDGs」という言葉をよく耳にいたしますが、「NTDs」は知っていますか？「NTDs」とは、Neglected Tropical Diseases の略で日本語では「顧みられない熱帯病」と訳されます。「顧みられない熱帯病」とは、熱帯・亜熱帯の地域を中心に蔓延している寄生虫や細菌により引き起こされる 20 疾患が該当します。患者さんは途上国や貧困地域に集中しており、これまで世界の関心を集めることがありませんでしたが、現在 WHO（世界保健機関）はこの 20 疾患を制圧目標にあげて対策に乗り出しています。NTDs の 1 つであるブルーリ潰瘍の研究が、鈴木教授 (東京医科歯科大学)、星野先生、吉田先生 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター) のグループによりガーナ拠点で行われています。



ブルーリ潰瘍（Buruli ulcer）は大きな皮膚潰瘍を特徴とし、適切な治療を行わなければ後遺症が残る、偏見や差別につながる可能性があります。細菌の一種である抗酸菌 *Mycobacterium (M.) ulcerans* の感染により発症しますが、感染経路はいまだに不明であり、基本的な感染対策すら取ることができない状況にあります。ガーナでは感染経路の特定を行うために、ブルーリ潰瘍と診断された患者さんの自宅や村周辺の生活用水や泥などを対象にした環境調査を行っており、原因菌の探索を行っています。

ブルーリ潰瘍は痛くない？

ブルーリ潰瘍の原因菌が産生する毒素マイコラクトン（Mycolactone）は、細胞を傷つけ壊死させながら広がっていくだけでなく免疫抑制作用があるため、自然治癒は難しいとされている疾患です。また末梢神経のシュワン細胞を障害するため、どんなに傷が深くえぐれていても痛みが殆どありません。



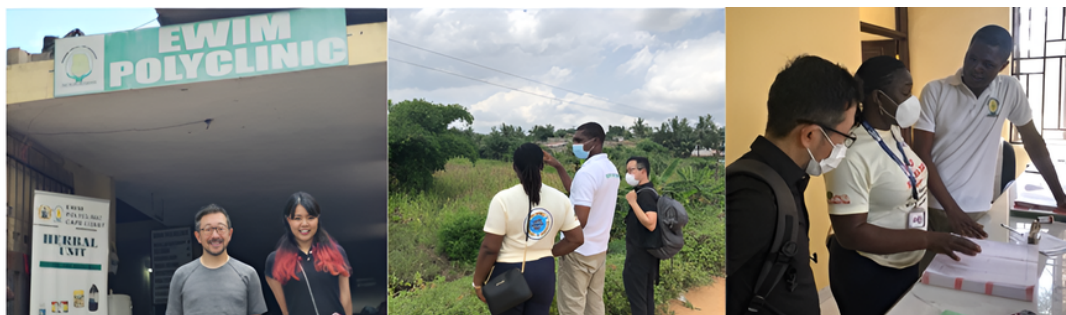
ガーナ拠点 研究紹介 マラリア 愛媛大学

日本では馴染みのない寄生虫感染症の「マラリア」は「HIV／エイズ」「結核」と並ぶ世界三大感染症の1つで、今なお世界中で2億人以上の方が罹患し、毎年60万人以上の方が命を落としています。そしてアフリカ地域でマラリア患者の95%、死亡者の96%（そしてその80%が5歳以下の子ども）が報告されています。

そこで2022年6月から「マラリア」の研究が、ここガーナ 野口記念医学研究所共同研究センターでスタートしました。愛媛大学の高島 英造准教授の主導で始まった研究は「マラリア流行クラスターを検出するナショナルサーベイランス技術の確立」。

風邪と同じように、マラリアに感染しても無症状でいる人達がたくさんいて、気が付かないうちに病気を広めてしまっています。

この研究はガーナで採取された血液をつかって、そういった無症状マラリア感染者を抗体で見つけ出して治療するための新技術を開発するものです。



WORLD MALARIA DAY

4月25日は世界マラリアデーでした。2023年は、「TIME TO DELIVER ZERO MALARIA: INVEST (投資), INNOVATE (革新), IMPLEMENT (実行)」をテーマに世界中で開催されました。ガーナでは、4月21日に野口研究所の研究者や学生が「NO MALARIA!」などと書かれた看板を持って街頭を歩き、4月25日はガーナ大学近隣の小学校でマラリアに対する教育講演を行い、マラリアデー当日の25日には、国際会議場にて無料のマラリア検査が実施され、野口研究所の研究者による研究発表会が行われました。ちなみにガーナでは、イベントがあるとイベントに関連したTシャツが作られ、無料で配られます。



COVID-19がマラリアに与えた影響

マラリアによる死亡者数は、2000年の897,000人から2015年には577,000人、2019年には568,000人と着実に減少していました。しかし2022年、COVID-19が流行し医療システムに混乱が引き起こされたことで、マラリアによる死亡者数は2019年に比べ10%増加し、推定625,000人となりました。2021年の推定死亡者数は619,000人とわずかに減少しているものの、2019年から2021年にかけて、COVID-19が引き起こした混乱によりマラリアで亡くなった方は63,000人と報告されています。

引用文献; WORLD MALARIA REPORT 2022
文章：高島・長岡

東京医科歯科大学 野口研究所ガーナ拠点来訪者リスト

2023年1月-9月

鈴木敏彦	東京医科歯科大学	1月29日-2月8日, 6月14日-6月21日
星野仁彦	国立感染症研究所	1月28日-2月8日
吉田光範	国立感染症研究所	1月28日-2月8日
深野華子	国立感染症研究所	1月28日-2月8日
齋藤良一	東京医科歯科大学	6月22日-7月1日
太田悠介	東京医科歯科大学	6月22日-7月1日
高島英造	愛媛大学	7月4日-7月12日
嘉糠洋陸	東京慈恵会医科大学	3月19日-3月25日, 7月24日-8月5日
齊木選射	東京慈恵会医科大学	3月19日-3月25日, 7月24日-8月5日
櫻井達也	東京慈恵会医科大学	3月19日-3月25日, 7月24日-8月5日
石野智子	東京医科歯科大学	8月27日-9月2日
新澤直明	東京医科歯科大学	8月27日-9月2日

ガーナの生活 果物編

ガーナには美味しい果物がたくさんあります。マンゴー、パイナップル、バナナ、アボカドなど、日本でも馴染みがある果物の他に、日本ではチョコの原料として知られているカカオも種の周りの果肉をフルーツとして食べることができます。日本とガーナでは同じフルーツでも大きさや食べ方が大きく異なります。例えば、マンゴーは2種類あり、小さいマンゴーは全体をモミモミと揉んで柔らかくした後に口で穴を開けて果汁を吸いますし、パイナップルは中心の固い芯の部分がないため、外皮を剥いて丸ごと食べます。特にアボカドは、日本で見るものよりも2~3倍ほど大きく甘みがあるのが特徴的です。





さて、日本では気軽にスーパーで買える果物たちですが、ガーナで購入するといくらで購入できるでしょう？

日本では高級なマンゴーですが、ガーナでは1個あたり15セディ(1セディは約13円)、パイナップルやバナナは5セディ、アボカドは10セディ程で購入することができます。

一方で、輸入に頼っているオレンジやリンゴは1個あたり20セディと現地で取れるフルーツと比較すると割高です。

是非、ガーナに来られた際には日本では食べられないフルーツを食べてみてください。

ガーナの生活 オクラスープ編

ガーナの名物料理で筆者が最も好きな料理は、オクラスープです。オクラスープは、オクラ、トマト、玉ねぎ、ピーマン、ニンジン、にんにく、魚介などを水で煮込んだスープで、各家庭で辛さや味が全く違います。現地の人たちはガーナの主食の1つである「バンクー」と一緒に食べます(※バンクーとは？キャッサバとメイズを発酵させたものをお湯で練って大きな団子状にしたものです。結構、酸っぱいので、初めて食べる方はちょっと苦手かもしれません)。日本でいうと、ご飯とお味噌汁のような感覚でしょうか。日本ではあまり知られていない料理ですが、オクラのねばねばした食感と、トマトの酸味と魚介の出汁が出ていてとても美味しいです！たくさんの野菜を一気に摂ることができ、ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富に含まれているので栄養満点です。私は日本人とガーナ人のご夫妻の家庭の夕食にお邪魔した際にご馳走になった「オクラスープ」が美味しくて、3杯もおかわりさせていただきました。最後に、ガーナ料理を現地のレストランで食べる際に、辛いのが苦手な方は、必ず「辛いのは苦手！」と主張してください。主張しないとスパイシー好きな国民性なのか、調理する際にチリが加えられ、「激辛」に仕上がった料理が提供されます。もちろんオクラスープも例外ではありません。



文章：長岡